令 和 ２ 年 度

令和　２年４月　１日から
令和　３年３月３１日まで

事 業 報 告 書

公益社団法人
日本海員掖済会

令和２年度事業報告

（令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで）

事 業 の 概 要

本会は、掖済（導き、助ける）の精神に基づき、船員に対する医療にかかわる援護事業を行うとともに、社会福祉の増進を図るため、生活保護患者への医療支援及び生計困難者に対する診療費の減免等を行うことを目的として設立された法人である。

また、これらの事業を継続的に実施するための不可欠な基盤として、医療、介護の充実に取り組んでいる。

令和２年度もこのような法人設立の精神に基づき、次の事業を実施した。

特に、令和２年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界的に蔓延し、本邦でも緊急事態宣言が２回にわたり発出されるなど未曾有の事態となったため、本会としてもこれに適切に対応した。

Ⅰ．公益目的事業

１．新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応

本会の根幹となる医療・介護事業では、新型コロナウイルス感染者・回復者の受入れを行うとともに、PCR 検査・抗原検査等による同感染症の陽性・陰性の判別を行った。

また、院内感染を防止するためゾーニング（発熱患者の待機場所の隔離・動線の区分等）やアクリル板の設置等感染防止対策を行ったほか、地域医療施設等へ医師、看護師を派遣し、地域の同感染症患者への医療に協力した。

これに加え、船員への同感染症に対する対応として各病院・診療所において、いち早く外航船員等に対する PCR 検査及び抗原検査等を実施した。

２．船員支援事業

船員は、洋上にあって船舶という限定された小社会で働き、且つ、生活するといった特殊な労働環境にある。船舶で傷病が発生した場合、直ちに医療機関による医療が受けられず、場合によっては重大な海難事故につながる恐れもある。このため、船員の日常的な健康管理から海上における医療支援まで切れ目のない支援を引き続き行った。

また、このような切れ目のない支援を行うため、本会の各病院において 365 日 24 時間の支援体制を維持するなど適切に対応した。本年度の支援の概要は次の通りである。

乗船前健康診断	2,803 人
船員に対する保健指導等	2,268 人
※水先人に対する身体検査への協力を含む	
無線通信医療相談	165 回
衛生管理者講習等	延 38 日

３．社会福祉事業

掖済の精神に基づき、生活保護患者への医療及び自立支援並びに生計困難者に対する診療費の減免等を引き続き行った。

本年度の実績は、延べ 93,278 人である。

４．地域住民の健康の保持及び増進に寄与する医療を提供する事業

上記１、２を継続的に実施するための不可欠な基盤として、全国の主要港等に設置する各病院及び診療所において、船員に限らず地域住民への診療等を行った。

本年度の実績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入院患者数は延べ 413,062 人で対前年度比 10.0%減、外来患者数は延べ 676,288 人で対前年度比 11.1%減であった。

５．地域住民の疾病・傷害からの機能回復、社会復帰の促進を支援する介護を提供する事業

介護老人保健施設の入所は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、延べ 58,352 人で対前年度比 4.4%減、通所は延べ 7,715 人で対前年度比 1.5%増であった。

Ⅱ．収益事業

患者・施設利用者等の利便を図るため、駐車場の提供を行うとともに、物品の販売や食事提供、院外薬局の運営などに携わる外部事業者へ施設の土地や建物の一部区画の貸与等を行った。

また、本部においては本部ビル等の貸室の賃貸等を行った。

令和２年度は、従前の事業に加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が全世界的に蔓延し、我が国においても緊急事態宣言が２回にわたり発出されるなど未曾有の事態となったため、本会としてもこれに適切に対応した。

新型コロナウイルス感染症に関する対応を含め、次の事業を実施した。

Ⅰ．公益目的事業

１．新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応

本会の根幹となる医療・介護事業では、令和２年１月以降に拡大した新型コロナウイルス感染症に関しては、感染者・回復者の受入れを行うとともに、PCR検査・抗原検査等による同感染症の陽性・陰性の判別等を行った。

具体的には、以下の対応を行った。

（１）新型コロナウイルス感染症患者等の受入れ

名古屋掖済会病院及び神戸掖済会病院において、新型コロナウイルス感染患者専用病床を確保し、感染者の受入れを行った。その他の病院では、回復者の受入れについて協力した。

（２）ＰＣＲ検査・抗原検査等の実施

行政の求めに応じ発熱外来を開設するとともに、PCR検査・抗原検査等による新型コロナウイルス感染症の陽性・陰性の判別を行った。なお、両検査を合わせた検査実績は11,404件であった。

（３）院内感染防止対策

院内感染を防止するため、（２）の検査の実施に加え、新型コロナウイルス感染症への対策チーム等の設置、発熱患者の待機場所の隔離・動線の区分等のゾーニング、受付・診療の際の飛沫防止のためのアクリル板の設置等・オンラインでの診療等を行った。

また、介護老人保健施設においても入所者と家族とのオンライン面会等の実施による感染防止対策を行った。

（４）地域医療施設等への医師、看護師の派遣

名古屋掖済会病院では、愛知県の新型コロナウイルス感染症調整本部及び同感染症専門施設に医師等を派遣するとともに、患者隔離施設にも複数の医師、看護師を派遣するなど地域の新型コロナウイルス感染症患者への医療に協力した。

また横浜病院では、神奈川モデル等の県の対策策定に協力するとともに、神奈川県対策本部転院搬送調整班等に医師を派遣するなど、地域の新型コロナウイルス対策に協力した。

このほか、一部の病院でも地元自治体が設立した新型コロナウイルス感染症専門施設等への職員の派遣を行った。

（５）外航船員に対するＰＣＲ検査等の実施

国土交通省及び一般社団法人日本船主協会の要請を受け、物流の担い手である外航船員の安全を確保するため、同協会に所属する企業の外航船員等に対し、各病院・診療所において、いち早く乗船前のＰＣＲ検査等を実施した。

２．船員支援事業

海洋を運行する船舶で働く船員は、危険な場所での労働・職住一致生活など、極めて特殊な労働環境にある。船舶で傷病が発生した場合は、直ちに医療機関によって医療が受けられず、場合によっては重大な海難事故につながる恐れもある。このため、本会の各病院において、船員の日常的な健康管理から海上における医療支援まで切れ目のない支援を引き続き行った。

また、このような切れ目のない支援を行うため、本会の各病院において、特に以下（４）（５）に対応して365日24時間の支援体制を維持するなど適切に対応した。

（１）健康証明書発行

本会の医師は、全員が指定医（船員法施行規則第57条第2号に基づく国土交通大臣及び運輸局長の指定）とされており、乗船前健康診断を迅速に行った。

なお、令和2年度末の指定医の人数は328人であり、船員法83条に基づく健康証明の取扱い人数は2,803人であった。

（２）船員に対する保健指導等

（１）に加え、船員は海上労働の特殊性からその健康管理には特別の配慮を行う必要があることから、生活習慣病予防健診や各種資格に係る身体検査の証明等を行った。

なお、本年度の実績は次のとおりである。

	船員保険生活習慣病予防健診	海技資格免状の取得又は更新の際の健康証明	その他検査
取扱人数	1,236人	607人	142人

そのほか、海の月間及び船員労働安全衛生月間を始めとして、健康相談、予防接種、船内保健衛生指導及び訪船診療を行った。

また、上記月間等を利用して船内衛生に関する講演会等を開催し、船内衛生の向上に協力した。

なお、本年度の実績は次のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、取扱い人数は減少した。

		令和元年度	令和2年度	増減率
海の月間	取扱延人数	96人	7人	△ 92.7%
船員労働安全衛月間		215人	79人	△ 63.3%

また、海事関係新聞紙上に健康に関する記事の掲載を　年12回行い、これを健康講座として発行した。

（３）船舶衛生管理者講習、同再講習及び講習教材の改訂

医師が乗船していない船舶における医療や船内の衛生管理を行う船舶衛生管理者（国家資格者）を養成するため、本会の病院において、船舶衛生管理者講習（船員災害防止協会が実施主体）の講義・実習等を行った。

また、水産系高校からの要請により、船舶衛生管理者講習（C）の受講の前提となる履修科目の講義を行った。

なお、本年の実績は次のとおりである。

船舶衛生管理者登録講習（旧船舶衛生管理者講習（A））

一般の大学等を卒業した資格認定希望者を対象として、名古屋掖済会病院で実施を予定していたが、本年度の講習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

船舶衛生管理者講習（B）

商船系大学等で一定の科目を履修した者及び卒業生が対象

施設	講習会回数	延日数	受講者数
名古屋掖済会病院	1回	8日	11人
神戸掖済会病院	1回	8日	15人

船舶衛生管理者講習（C）

水産系高校本科で一定の科目を履修した卒業生を対象として、横浜掖済会病院で実施を予定していたが、本年度の講習は新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出されたため中止となった。

船舶衛生管理者再講習

特定船舶に乗込む衛生管理者に対し5年ごとに受講を義務付けられている講習（一般社団法人外航船員医療事業団が実施主体）で、大阪掖済会病院及び横浜掖済会病院で実施を予定していたが、本年度の講習は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。

水産系高校が実施する船舶衛生管理者講習（C）の受講の前提となる講義

施設	講習会回数	延日数	受講者数
小樽掖済会病院	1回	22日	7人

（４）無線通信医療相談

本会の病院は昭和13年に逓信省から指定を受け、以後、航海中の船舶乗組員に傷病者が発生した場合の無線通信による無料医療相談に対し適切な助言を行ってきており、昼夜を問わず対応できる体制を整えるほか、本年度も引き続き適切な助言を迅速に行った。

無線通信医療相談の本年度の実績は次のとおりであり、通信応答数は対前年度比8.3%減であった。

		令和元年度	令和2年度	増減率
日本船	船舶数	77隻	74隻	△ 3.9%
	通信応答数	176回	161回	△ 8.5%
外国船	船舶数	2隻	2隻	0.0%
	通信応答数	4回	4回	0.0%
計	船舶数	79隻	76隻	△ 3.8%
	通信応答数	180回	165回	△ 8.3%

（５）洋上救急

海上保安庁又は公益社団法人日本水難救済会等からの洋上救急往診の要請に対し、昼夜を問わず対応できる体制を常に整えた。

（６）船内備置き法定図書の改訂・発行

船舶備置き法定図書として本会が発行している「日本船舶医療便覧」、「小型船医療便覧」及び「国際信号書」を販売した。

また、本年度は日本船舶医療便覧、小型船医療便覧及び国際信号書を最新の内容に改訂した。

図　書　名	備置きを必要とする船舶	販　売　数
国土交通省監修 日本船舶医療便覧	沿海区域以上を航行区域とする船舶及び命令で定められた漁船で、甲･乙種衛生用品を備えるもの	167冊
国土交通省監修 小型船医療便覧	丙・丁種衛生用品を備える船舶及び漁船	483冊
海上保安庁監修 和英対訳国際信号書 （解説書付）	総トン数１００トン以上で、沿海区域以上を航行区域とする船舶及び第２種・第３種漁船	337冊

（７）水先人試験への協力、海技資格協力センターへの医師・看護師等の派遣

国土交通大臣が定める医師を定める告示に基づき、水先人試験に伴う身体検査の実施に協力した。なお、本年度の取扱い人数は283人であった。

また、小型船舶操縦者免許証の更新講習等を実施している講習機関の講師資格取得研修を実施する公益財団法人海技資格協力センターに対し、令和2年7月7日に横浜掖済会病院が身体検査の研修講師として医師1名を派遣した。また、令和2年11月20日に門司掖済会病院が医師1名、技師1名を同様に派遣する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で派遣を中止し、代わって横浜掖済会病院の医師が研修資料を作成した。

（８）育英奨学金の貸付

船員の養成に協力するため、海上技術学校及び海上技術短期大学校の学資支弁困難な生徒を対象に無利息で奨学金の貸付けを行った。

本年度における貸付者数は、次のとおりである。

学校名	令和元年度	令和2年度	増減
小樽海上技術学校	10人	3人	△ 7人
宮古海上技術短期大学	5人	7人	＋2人
館山海上技術学校	8人	4人	△ 4人
波方海上技術短期大学	0人	6人	＋6人
清水海上技術短期大学	1人	2人	＋1人
唐津海上技術学校	9人	8人	△ 1人
口之津海上技術学校	19人	13人	△ 6人
計	52人	43人	△ 9人

３．社会福祉事業

掖済（導き、助ける）の精神に基づき、生活保護者、生計困難者等に対し支援を行った。

（１）生活保護患者への医療及び自立支援並びに生計困難者に対する診療費の免除又は減額並びに各種相談への対応

病院・診療所にソーシャルワーカー等を配置し、生活保護法の適用を受けている者の診療・援護を積極的に進めるとともに、公的援護の対象外にある生計困難者の診療費の免除又は減額の措置を講じたほか、各種の相談に応じた。

本年度の免除又は減額の実績は次のとおりである。

	令和元年度	令和2年度	増減率
延人数	99,011人	88,020人	△ 11.1%

（２）生活保護患者の取扱い及び生計困難者に対する施設使用料の免除又は減額並びに各種相談への対応

介護老人保健施設に支援相談員を配置し、生活保護法の適用を受けている者の施設利用を積極的に進めるとともに、公的援護の対象外にある生計困難者の施設使用料の免除又は減額の措置を講じたほか、両者に対する公的援護の受給手続き等各種の相談に応じた。

本年度の免除又は減額の実績は次のとおりである。

	令和元年度	令和2年度	増減率
延人数	5,580人	5,258人	△ 5.8%

（３）無料巡回診療等

老人福祉施設等を対象に診療班を派遣して無料診療及び健康相談を行った。

また、名古屋掖済会病院が、歯科医師会の要請により、特別養護老人ホーム、社会福祉法人障害者施設を対象に歯科医師を派遣し、無料歯科検診へ協力した。

本年度の実績は次のとおりである。

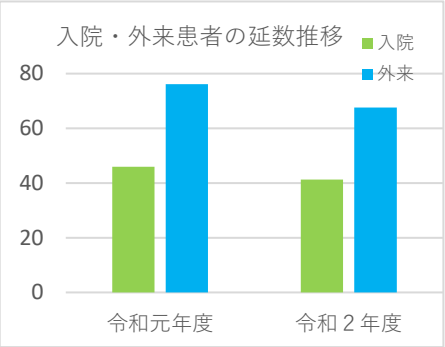
		令和元年度	令和2年度	増減率
無料巡回診療	回数	35回	38回	＋ 8.6%
	取扱人数	1,355人	1,750人	＋ 29.2%
歯科医師派遣	回数	95回	46回	△ 51.6%
	取扱人数	921人	275人	△ 70.1%

４．地域住民の健康の保持及び増進に寄与する医療を提供する事業

上記１、２、３を継続的に実施するための不可欠な基盤として、全国の主要港等に設置する各病院及び診療所において、船員に限らず地域住民への診療及び健康診断等の予防医療を行った。

これらを実施するに当たり、国の医療政策の変化に対し各地域の医療ニーズに沿った事業展開を進めた。

（１）地域医療への貢献



本年度に病院及び診療所において取り扱った入院患者延人員は対前年度比10.0%減少し、外来患者延人員は対前年度比で11.1%減少となった。いずれも新型コロナウイルス感染症の影響をうけて減少となった。

病床利用率は7.0ポイント減少の66.8%となった。

平均在院日数（障害者病棟、地域包括ケア病床を除く。）は対前年度比で0.6日短縮し、12.7日となった。

		令和元年度	令和２年度	増減率
入院患者	実人員	46,976人	42,787人	△ 8.9%
	延人員	459,200人	413,062人	△ 10.0%
外来患者	実人員	459,178人	439,994人	△ 4.2%
	延人員	760,944人	676,288人	△ 11.1%
計	実人員	506,154人	482,781人	△ 4.6%
	延人員	1,220,144人	1,089,350人	△ 10.7%

（詳細については別紙1を参照）

①　地域包括ケア病棟

横浜掖済会病院（令和2年12月病棟開設）、名古屋掖済会病院、神戸掖済会病院、門司掖済会病院及び長崎掖済会病院が、地域包括ケア病棟において、急性期治療を終了した患者に対し、在宅復帰に向けて医療管理、リハビリテーションなどの診療を行った。

本年度の実績は次のとおりである。

	令和元年度	令和２年度	増減率
取扱人数	52,610人	48,902人	△ 7.0%

② 障害者の福祉に関する事業

宮城利府掖済会病院は、障害者病棟を含め、障害者自立支援法に基づく育成医療及び更生医療機関としてその診療を行った。障害者病棟(50床)の本年度の実績は次のとおりであり、合計の延人員は対前年度比15.3%減であった。

	令和元年度	令和２年度	増減率
取扱人数	15,861人	13,437人	△ 15.3%

（２）地域住民に対する保健指導及び疾病予防

新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、状況を確認しながら出来る限り地域住民に対する健康に関する講演会を随時開催し、医療知識の啓蒙を図った。

また、健康診断や健康相談を行うなど、高齢化の進展に伴い、がんや生活習慣病等及び近年流行の兆しがみえる各種感染症の早期発見と予防に努めた。

（３）救急体制の維持

事故又は災害による救急患者の救護を行った。

本年度の実績は次のとおりであり、救急患者延数は対前年度比27.2%減少した。

		令和元年度	令和2年度	増減率
救急患者数	救急者受入台数	23,978人	23,274人	△ 2.9%
	自家用車等	51,935人	32,026人	△ 38.3%
計		75,913人	55,300人	△ 27.2%

また、傷病者が出る恐れのある各種行事の際には、最寄りの病院から救護班を派遣して救護に務めた。本年度の実績は次のとおりである。

	令和元年度	令和2年度	増減率
救護班派遣回数	58回	57回	△ 1.7%

（４）人材育成

①　医師及び歯科医師の臨床研修

名古屋掖済会病院は医師及び歯科医師の臨床研修を行う施設として、小樽掖済会病院、大阪掖済会病院、神戸掖済会病院及び長崎掖済会病院は医師の臨床研修を行う施設として、門司掖済会病院は歯科医師の臨床研修を行う施設として厚生労働省の指定を受けており、臨床研修を通じて医療の向上に寄与した。

本年度の実績は、次のとおりである。

カテーテルの臨床研修

	令和元年度	令和２年度
研修医師	44人	34人
研修歯科医師	2人	1人

②　看護師等の養成

えきさい看護専門学校において看護師の養成を行った。

	令和元年度	令和2年度
養成看護師数	122人	121人

また、病院においては、地区医師会、看護学校等からの委託を受けて、生徒の実習養成に協力した。本年度における実績は、次のとおりである。

	令和元年度	令和2年度
小樽掖済会病院	18人	8人
横浜掖済会病院	36人	-
名古屋掖済会病院	308人	426人
大阪掖済会病院	30人	-
神戸掖済会病院	117人	127人
門司掖済会病院	92人	-
介護老人保健施設えきさい大阪	9人	-
計	610人	561人

この他、外部からの委託を受けて、医師24名、薬剤師8名、技師28名、技士244名及び鍼灸士15名の実習養成に協力した。

（５）訪問看護事業

長崎掖済会病院が居宅要介護者等の訪問看護を行った。

本年度の実績は次のとおりである。

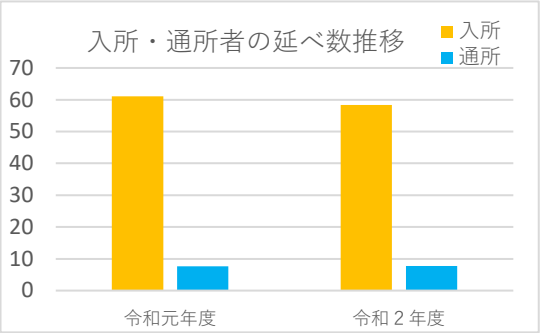
	令和元年度	令和２年度	増減率
取扱人員	993人	922人	△ 7.2%

（６）医学的研究

病院において、疾病に関する各種の研究を行い、学会等に発表し、医学の進歩に寄与した。（詳細については別紙２を参照）

５．地域住民の疾病・傷害からの機能回復、社会復帰の促進を支援する介護を提供する事業

介護老人保健施設において、看護・医学的管理の下における介護、リハビリテーションを中心にレクリエーションや日常生活のサービスを提供し、在宅復帰を支援するほか、デイサービスを行った。



介護老人保健施設の運営

本年度の実績は次のとおりであり、合計の延人員は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対前年度比3.8%減となった。

		令和元年度	令和２年度	増減率
入所者	実人員	2,255人	2,140人	△ 5.1%
	延人員	61,069人	58,352人	△ 4.4%
通所者	実人員	971人	945人	△ 2.7%
	延人員	7,602人	7,715人	＋ 1.5%
計	実人員	3,226人	3,085人	△ 4.4%
	延人員	68,671人	66,067人	△ 3.8%

（詳細については別紙1を参照）

６．その他の事業

施設の整備拡充

令和２年度の病院・診療所・介護老人保健施設、看護専門学校の増改築工事等及び医療機器・一般備品等に関する整備拡充については、別紙３のとおり。

Ⅱ．収益事業

（１）患者用・施設利用者用駐車場提供業務

各施設において患者等の通院及び施設利用者等の通所に不可欠な駐車場の提供を行った。

また、本部においては、敷地内の駐車場及び駐輪場の提供を行った。

（２）不動産賃貸事業

患者・家族等への物品販売や食事提供、院外薬局の運営などに携わる外部事業者へ施設の土地や建物の一部区画を賃貸した。

また、本部においては本部ビル等の貸室の賃貸を行った。

（３）物品販売・手数料事業等（含む公衆電話）

患者・施設利用者等の便宜を図るため、自動販売機、コインランドリー等の販売を外部業者へ委託し、手数料収入等を得た。

Ⅲ．内部管理体制の概要

本会における一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成１８年法律第４８号）第９０条第４項第５号の体制の整備の概要は、以下のとおりである。

１．理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 本会全体の経営理念及び行動規範を次のとおりとする。

① 本会全体の経営理念

掖済の精神（生活の困難な人を始め広く地域住民に対し支援の手を差し伸べる精神）をもって社会貢献します。

② 本会全体の行動規範

ア 常に使命を認識しつつ、業務の効率性の確保に留意します。

イ 法令、定款及び一般的な社会規範を遵守します。

(2) 本会の対外イメージの向上を図り、看護師等職員確保に役立て、かつ職員の一体感の醸成を図るため、本会の経営理念を表象するＣＩ活動を推進する。

２．理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

(1) 文書の管理は、文書管理規程による。

(2) 本部及び施設に総括文書管理者等を置き、体制を整備する。

(3) 部内の意思決定及び部内意思の本会内外への伝達（各種契約等の締結を含む。）は、原則として、起案文書に基づく決裁による。

(4) 理事会及び部内の主な会議については、議事録を作成する。

(5) 個人情報の保護に関する管理は、本部または各施設の個人情報（特定個人情報を含む）の保護に関する規程による。

３．損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(1) 自然災害に対しては、耐震化、衛星携帯電話の整備、備蓄等のハード面の対応を進めるとともに、対応マニュアル等を策定し、本会内のネットワークを構築するなど被害の波及の最小化と災害への適切な対応に努める。

(2) 金融資産に係るリスクに関しては、資産管理運用規程を設けるなど、極力リスクの回避及び極小化に努める。

(3) 経営上のリスクに関しては、本部企画部を中心に、その影響を把握・分析し、対応方策を講じる。

(4) 施設にあっては、感染症対応マニュアル、医療事故対応マニュアル、ヒヤリハット・マニュアルなどリスク対処方針をマニュアル化するとともに、体制の改善、追加に努める。

(5) 本部及び施設においてＢＣＰ（業務継続計画＝Business Continuity Plan）を策定し、計画に基づく訓練等の定期的な実施を図る。

４．理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

(1) 理事会を原則として年３回定期的に開催し、代表理事及び業務執行理事は、職務執行の状況を適宜報告する。

(2) 重要案件については、代表理事及び業務執行理事は、必要に応じ部内の会議の議を経てその検討状況を理事会に報告する。

(3) 会計事務手続きを会計規程及び新会計マニュアルに統合し、会計処理上のチェック体制についてのルールを明確にするとともに定期的に見直す。

(4) 本部、施設とも毎月の稼働成績、決算等の経営分析を毎月経営会議で行い、必要があれば直ちに対策に着手する。

(5) 各部門において業務に関する規程及びマニュアルを作成し、定期的に見直しをする。

(6) 施設ごとに中期経営ビジョン及び計画を作るよう努める。

５．使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 業務執行理事のうち１名を法令等遵守責任者に任命する。法令等遵守責任者は、法令若しくは定款に違反し、又は違反している恐れがある事実を知ったときは、直ちに会長に報告する。業務執行理事は、事案処理の方針及び体制を決定する。

(2) 法令等遵守に係る事項は、本会全体として開催する会議、施設における諸会議等において検討し、全会的に理解が得られるよう努める。

(3) 施設に対する本部監査及び監査法人監査は、ほぼ３年に１回は受けることとなるよう計画し、これらの監査を通じて、業務の効率性の確保などのほか法令等遵守の徹底が図られるよう努める。

(4) 外部からの苦情を受け付ける窓口を本部及び施設に設置し、苦情処理マニュアルに基づき処理する。また、内容は、定期的に本部又は施設の経営会議等に報告し、改善策を講じる。

(5) 内部通報制度の導入により不正行為等の早期発見と是正を図る。

６．ＩＴ体制

(1) 部門ごとに不正入力、入力ミス等の防止・発見を行える体制の構築を図る。

(2) 本部又は施設の建物等に災害等に伴う甚大な被害が生じた場合にも重要な情報を保全できるようバックアップシステムを整備する。

(3) 基幹システム（医事、電子カルテ、オーダリング、会計、人事等）の誤作動、稼働停止等に対する対応マニュアルを整備する。

(4) 基幹システムは、サイバーアタック等によるウィルス感染や誤作動を防止するため、インターネットと完全に分離した専用回線を使用する。また、情報漏えい防止のため、原則として外付け記録媒体を接続しないこととし、例外的に接続する際は規則に従い厳格な運用を行う。

(5) インターネットに接続するサーバー、クライアントパソコンには、ウィルス対策ソフトを導入し、パターンファイルの更新を定期的に行う。

事業報告の附属明細書

令和２年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は、作成しない。

［参考］本会の現状

１．会員の現状

本年度末における本会会員の現状は、次のとおりである。

会　　員	58 名

２．役員及び職員の現状

本年度末における役員及び職員の現状は、次のとおりである。

理　　事	17 名
監　　事	2 名
顧　　問	1 名
有　給　職　員	3,007 名

３．病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の現状

本年度末において本会が設置運営する病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校は、次のとおりである。

病　　院	8 施設（病床数 1,792 床）
診　療　所	2 施設
介護老人保健施設	2 施設（定員　188 名）
看護専門学校	1 施設（定員 1～3 年 各 40 名）

病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の所在地、診療科目及び病床数は、別紙 4 のとおりである。

別紙１

令和2年度診療患者その他取扱成績表

病院及び診療所

施設別 ＼ 種別		入院患者 新患	入院患者 実人員	入院患者 延数	入院患者 退院	入院患者 死亡	外来患者 新患	外来患者 実人員	外来患者 延数	外来患者 死亡	公衆衛生 健康検査	公衆衛生 予防接種
病院	小樽	2,863	3,775	30,116	2,726	103	3,490	23,118	29,026	2	3,496	947
病院	宮城利府	551	1,275	22,183	480	75	3,343	21,379	41,577	6	4,613	195
病院	横浜	1,961	2,487	23,720	1,863	118	1,934	25,682	39,963	0	1,232	1,192
病院	名古屋	14,471	19,669	167,641	13,647	828	48,891	208,988	290,909	341	10,532	1,832
病院	大阪	2,286	3,381	35,954	2,184	116	17,263	31,208	53,340	1	2,737	1,622
病院	神戸	5,657	8,248	83,554	5,276	391	14,446	67,343	112,112	0	2,271	1,029
病院	門司	1,654	2,258	24,350	1,647	32	3,730	32,655	61,234	0	3,986	321
病院	長崎	916	1,694	25,544	919	11	4,087	26,894	42,975	0	2,816	1,590
診療所	名古屋埠頭						32	533	560	0	1,468	90
診療所	広島						194	2,194	4,592	0	1,104	892
計		30,359	42,787	413,062	28,742	1,674	97,410	439,994	676,288	350	31,984	8,681
前年度比	増・減（△）	△ 3,298	△ 4,189	△ 46,138	△ 3,355	57	△ 18,791	△ 55,184	△ 84,656	7	△ 2,353	△ 1,446

注１：入院及び外来の数字は員数を示し、公衆衛生の数字は件数を示す。

介護老人保健施設

施設 ＼ 種別	入所者 新規	入所者 実人員	入所者 延数	入所者 退所	入所者 死亡	通所者 新規	通所者 実人員	通所者 延数	通所者 死亡	公衆衛生 健康検査	公衆衛生 予防接種
えきさい横浜	65	1,016	29,388	59	6	10	220	1,336	0	0	0
えきさい大阪	224	1,124	28,964	228	3	18	725	6,379	0	0	0
計	289	2,140	58,352	287	9	28	945	7,715	0	0	0
前年度比増・減(△)	△ 113	△ 115	△ 2,717	△ 110	△ 3	△ 15	△ 26	113	0	0	0

医学的研究

施設名 No.	課題	研究者（※は部外者）	発表方法（発表時期）
小樽掖済会病院（No.1.～17.）			
1.	リンパ節転移を契機に発見され、術前の原発巣特定が困難であった回腸神経内分泌腫瘍の1例	医員 中村 元 他11名（※2名）	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
2.	盲腸に寄生を認めた鉤頭虫症の1例	医長 小松悠弥 他8名（※2名）	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
3.	全身麻酔下に内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）で一括切除し得た、巨大H.pylori陰性腺窩上皮型腺癌の2例	医員 森田理恵 他8名（※2名）	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
4.	上腹部痛と下血を契機に発見された、十二指腸脂肪腫の1例	医長 平田裕哉 他7名（※1名）	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
5.	表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対して非穿孔法で腹腔鏡・内視鏡合同手術を施行した当院13例の経験	医長 嘉成悠介 他12名	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
6.	当院における悪性大腸狭窄に対するメタリックステント挿入症例の検討	診療部長 高梨訓博 他11名	第127回日本消化器病学会北海道支部例会 第121回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2020.9)
7.	抗緑膿菌作用のある抗菌薬の抗菌薬使用密度（AUD）と緑膿菌感受性の相関について	主任薬剤師 四藤大介 他1名	第68回日本化学療法学会総会 (2020.9)
8.	大腸癌症例におけるSMAの走行分類	技師 久木弥衣子 他1名	令和2年度 小樽後志放射線技術師会秋季研究発表会 (2020.10)
9.	EOB検査における動脈相でのアーチファクトの改善に向けた検討	技師 佐藤哲太 他1名	令和2年度 小樽後志放射線技術師会秋季研究発表会 (2020.10)
10.	十二指腸ESD併用LECSの治療成績	診療部長 植木知身 他1名	第58回日本癌治療学会 (2020.10)
11.	TAPP術前のCT所見が極めて有効であったヘルニア門が不明瞭な2症例	診療部長 植木知身 他1名	第18回日本ヘルニア学会 (2020.11)
12.	当科における人工肛門閉鎖時皮膚縫合方法の工夫と検討	診療部長 野田愛 他4名	第75回日本大腸肛門病学会 (2020.11)

13. 糞便塞栓による閉塞性大腸炎の2例	医員 中村 元 他1名	第41回日本大腸肛門病学会北海道支部例会 (2020.11)
14. 術中に閉鎖孔ヘルニアが判明した症例	診療部長 植木 知身 他1名	第13回ヘルニアを学ぶ会 (2020.11)
15. 定位前方切除術時に偶発的に発見された高分化型乳頭状腹膜中皮腫の1例	医員 中山 健太 他4名	第41回日本大腸肛門病学会北海道支部例会 (2020.11)
16. 当院における病棟薬剤業務と感染制御	主任薬剤師 四藤 大介 他1名	大塚製薬工場株式会社社内研修会 (2020.12)
17. 当院における80歳以上の高齢者大腸がん手術の検討	診療部長 野田 愛 他4名(※1名)	第75回日本消化器外科学会 (2020.12)

宮城利府掖済会病院 (№18.)

18. Association between Adult Height and Risk of Lung Cancer Incidence among Japanese Men : The Miyagi Cohort Study	内科部長 麦倉 正敏 (※5名)	THE TOHOKU JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE (2020.5)

横浜掖済会病院 (№19.～27.)

19. ざっくり解説：横浜掖済会病院の診療科	内科部長 長倉 秀幸	中南区消化器疾患の地域連携を考える会 (2020.10)
20. 再発原因の検討に役立つ再発鼠経ヘルニア分類の試み	外科部長 森岡 大介 他2名(※4名)	第120回日本外科学会定期学術集会 (2020.8)
21. 当科で施行した切除不能進行・再発悪性腫瘍による消化管通過障害に対する緩和的手術の検討	副院長 佐藤 芳樹 他3名(※1名)	第120回日本外科学会定期学術集会 (2020.8)
22. Inferior-mesenteriotesticular shunt with splenectomy in a case of left sided subhepatic inferior vena cava for oxaliplatin-associated portal hypertension	外科部長 森岡 大介 他2名(※4名)	第32回日本肝胆膵外科学会学術集会 (2021.2)
23. OXL及びALPSSによる門脈圧亢進症に対して脾摘・外科的門脈大循環シャントが奏功した1例	外科部長 森岡 大介 他1名(※4名)	第75回日本消化器外科学会総会 (2020.12)
24. Completely laparoscopic repair for reccurent inguinal hernia that developed after open posterior mesh repair	外科部長 森岡 大介 他3名(※4名)	Asian J Endosc Surg 2020;13:605-609 (2020.5)
25. Caused by oxaliplatin-based chemotherapy: a case report and a review of literature regarding	外科部長 森岡 大介 他2名(※6名)	Clin J Gastroenterol 2020;13:799-805 (2020.6)
26. Subcutaneous switching suture technique for hernia defect closure during laparoscopic ventral and incisional hernia repair	外科部長 森岡 大介 他2名(※6名)	Asian J Endosc Surg 2020 (2020.8)
27. 腰椎変性すべり症と変形性膝関節症の関連	副院長 岩村 祐一 (※2名)	Journal of Orthopaedic Science (2020.9)

名古屋掖済会病院（№28.～258.）

血液内科

28.	急速な経過で死亡した腎臓原発悪性リンパ腫の一例	診療部長 家田 美保 他3名	第240回内科学会東海地方会 (2020.2)
29.	特発性血小板減少性紫斑病における血小板輸血の位置づけの検討	診療部長 小島 由美 他3名	第74回日本輸血学会東海支部例会 (2020.2)
30.	当院での血液疾患患者におけるESBL産生菌の増加に関する考察	診療部長 小島 由美 他3名	第9回血液学会東海地方会 (2020.4)
31.	悪性腫瘍に続発した血小板減少性紫斑病（2次性免疫性血小板減少症）の2例	診療部長 早川 正哉 他3名	第9回血液学会東海地方会 (2020.4)
32.	デュルバルマブ投与後に血小板減少症を発症した一例	医員 小川 磨育子 他4名	第82回日本血液学会総会 (2020.10)
33.	髄膜炎にて死亡し、剖検にて結核性髄膜炎と診断されたホジキンリンパ腫の1例	初期研修医 倉内 榛菜 他4名	第242回内科学会東海地方会 (2020.10)
34.	広域発癌に続発した骨髄異形成症候群白血病化の1例	専攻医 高橋 直也 他6名	第242回内科学会東海地方会 (2020.10)

腎臓内科

35.	小腸カプセル内視鏡を用いて血管異形成による消化管出血を診断し得た血液透析患者の一例	医長 常世田 智明 他5名	日本透析医学会誌 (2020.6)
36.	心拍変動解析を用いたHDとHDFの侵襲性の比較	長田隆広（※） 診療部長 中嶋 貴（※2名）	日本臨床工学技士会会誌 (2020.4)
37.	深頸部膿瘍のため気管切開を必要とした血液透析患者の一例	医長 常世田 智明 他4名	第65回日本透析学会学術集会・総会 (2020.6)
38.	維持透析患者の骨粗鬆症に対するデノスマブの効果	診療部長 中嶋 貴 他4名	第63回日本腎臓学会学術集会 (2020.6)

糖尿病・内分泌内科

39.	がん化学療法時の糖尿病マネジメント	副薬剤部長 中村 敏史 他5名	第30回日本医療薬学会年会 (Web開催) (2020.10-11)
40.	標準高糖質製品の漫然投与で1374mg/dlの高血糖を来し、低GI･GL製品に変更後は糖尿病治療薬なしで血糖100mg/dl台で経過した一例	診療部長 髙橋 典男	グルセルナR-REX 発売3周年記念 症例検討ライブセミナー（名古屋掖済会病院 Webセミナー） (2020.12)

呼吸器内科

41.	播種性ノカルジア症の1例	医員 岩間 真由子 他8名	第117回日本呼吸器学会東海地方学会 (2020.5)
42.	新型コロナウイルスによる重症肺炎、ARDSの1例	医員 平野 達也 他8名	第117回日本呼吸器学会東海地方学会 (2020.5)
43.	気管支鏡検査にて声帯機能不全と診断した高齢男性の一例	医長 田中 太郎 他8名	第43回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 (2020.6)
44.	強アルカリ洗剤の吸入により発症した肺胞出血、器質化肺炎の一例	医員 平野 達也 他8名（※1名）	第118回日本呼吸器学会東海地方学会 (2020.11)

45. 小細胞肺癌の治療中にShewanella algae菌血症を繰り返した1例	診療部長	浅野俊明 他7名（※1名）	第118回日本呼吸器学会東海地方学会 (2020.11)
46. 左外転神経麻痺を契機に判明した肺腺癌および癌性髄膜炎の1例	診療部長	浅野俊明 他7名	第61回日本肺癌学会学術集会 (2020.11)

循環器科

47. 冠動脈疾患へのClinical Approach	医	長津田卓眞 他9名	札幌DCA club (2020.2)
48. Orsiroの有用性	医	長津田卓眞 他9名	高岡みなみハートセンターworkshop (2020.2)
49. Crusade conference	医	長津田卓眞 他9名	DLC conference (2020.7)
50. Watch-out ! Management of complication of CTO-PCI	医	長津田卓眞 他9名	MIS-Korea 2020 (2020.8)
51. Successful Bail-Out from Perforation in Long RCA-CTO	医	長津田卓眞 他9名	TCTAP 2020 (2020.8)
52. CTO with CABG graft failure	医	長津田卓眞 他9名	第1回 東海北陸PCI Community (2020.8)
53. Complication of CTO	医	長津田卓眞 他9名	滋賀ライブ (2020.9)
54. OCT findings in patient with COVID-19	医	長津田卓眞 他9名	Web OCT conference for ACS (2020.9)
55. Synergy XDの改善点	医	長津田卓眞 他9名	Synergy XD Web講演会 (2020.9)
56. Bypass graft failure後のCTO	医	長津田卓眞 他9名	CTO Web情報交換会 (2020.9)
57. PCIとOMTの最前線	医	長津田卓眞 他9名	臨床懇話会 (2020.10)
58. Complication case of CTO	医	長津田卓眞 他9名	第1回Edge (2020.10)
59. Samurai Cut for Dead	医	長津田卓眞 他9名	APSC CME Webinar (2020.10)
60. iFRガイドでDCAのエンドポイントを探る	医	長津田卓眞 他9名	第43回CVIT東海北陸地方会 (2020.10)
61. ACSに対するperfusion balloonの有効性に関する検討	医	長津田卓眞 他9名	第43回CVIT東海北陸地方会 (2020.10)
62. Best case of Rotablator	医	長津田卓眞 他9名	Rotablatorの集い (2020.10)
63. LAD CTO	医	長津田卓眞 他9名	Web conference in TOKAI (2020.10)
64. Tough CLI Case	医	長津田卓眞 他9名	To-Enの会 (2020.10)

65. Web Conference	医	長津田卓眞 他9名	テルモPCI Web Seminar	(2020.10)
66. SYNERGY XDの使用経験	医	長津田卓眞 他9名	SYNERGY XD臨床使用から学ぶ	(2020.10)
67. LCx-Ostial Lesion ～Japanese Style ～	医	長津田卓眞 他9名	India DigiConnect program	(2020.10)
68. インターベンション医も知っておきたいOMT	医	長津田卓眞 他9名	日本循環器学会　第156回東海・第141回北陸地方会	(2020.10)
69. challange for better wiring	医	長津田卓眞 他9名	T2 EVT conference	(2020.11)
70. Intervention style 2020	医	長津田卓眞 他9名	名古屋市南部西部医療連携Conference	(2020.11)
71. "RYUSEI" up to date	医	長津田卓眞 他9名	Ryusei night	(2020.11)
72. Against Nodular Calcification	医	長津田卓眞 他9名	エキスパート交流座談会	(2020.11)
73. Against for Calcified Nodule in Right Coronary Artery	医	長津田卓眞 他9名	Complex PCI	(2020.11)
74. Seeking the potential of DCA	医	長津田卓眞 他9名	第10回豊橋ライブ	(2020.11)
75. RCA severe calcification	医	長津田卓眞 他9名	Web症例検討会	(2020.11)
76. LMT bifurcation lesion	医	長津田卓眞 他9名	PCI web seminar	(2020.12)
77. Bail-out from RCA CTO	医	長津田卓眞 他9名	第2回　東海北陸PCI Community	(2020.12)
78. Finalize Deviceの活かし方	医	長津田卓眞 他9名	CPAC2020	(2020.12)
79. ステントレスPCI	医	長津田卓眞 他9名	Practical course in vascular treatment web symposium	(2020.12)
80. LCX-CTOにおける冠動脈穿孔症例	医	長津田卓眞 他9名	KCJL 2020	(2020.12)
81. 慢性完全閉塞病変のphysiology	医	長津田卓眞 他9名	KCJL 2020	(2020.12)
82. LMT calcified lesion	医	長津田卓眞 他9名	Complex PCI　臨床使用から学ぶ	(2020.12)
83. 虚血性心疾患様々な病態におけるデバイス治療とPCSK9阻害薬の可能性	医	長津田卓眞 他9名	アムジェンバイオファーマ社内講演	(2020.2)
84. Synergy XDの使用経験	医	長津田卓眞 他9名	Boston社内講演	(2020.6)

85. 津田先生が考えるFFRの重要性	医	長津田卓眞 他9名	Abott vascular japan社内講演 (2020.7)
86. Debulking deviceの必要性	医	長津田卓眞 他9名	日本ライフライン社内講演 (2020.7)
87. 愛RYUSEI ～臨床200例の経験から	医	長津田卓眞 他9名	カネカ社内講演 (2020.8)
88. 石灰化病変におけるOCTの有用性	医	長津田卓眞 他9名	Abott vascular japan社内講演 (2020.9)
89. CTO病変におけるGW TIPSとアクセサリーデバイスの選択	医	長津田卓眞 他9名	Medtronic社内講演 (2020.10)
90. PCI治療の最前線 ～ガイドワイヤー編～	医	長津田卓眞 他9名	Terumo社内講演 (2020.10)
91. ガイドワイヤーについて知る	医	長津田卓眞 他9名	日本ライフライン社内講演 (2020.10)
92. シビアケース症例におけるEVT治療のリアル	医	長津田卓眞 他9名	Medicon社内講演 (2020.10)
93. Xienceを知る	医	長津田卓眞 他9名	オーラム社内講演 (2020.11)
94. PE/DVTのいま	医	長伊藤正則 他9名	血栓症を考える会 Web (2020.11)
95. PCI治療の最前線について	医	長津田卓眞 他9名	Terumo社内講演 (2020.12)

脳神経内科

96. 急性に出現した両上肢,左下肢脱力,疼痛で発症し後縦靭帯骨化(OPLL)を合併した脊髄梗塞の一例	医	員小野田統 他10名	第157回日本神経学会東海北陸地方会 (2020.6)
97. 初期に髄膜に限局した画像異常がみられた脳アミロイドアンギオパチーの1例	専攻医	浅野剛平 他9名	第242回日本内科学会東海地方会 (2020.10)
98. 移植19年後多彩な症状で発症した移植後リンパ増殖性疾患の一例	研修医	神谷莉香 他11名	第158回日本神経学会東海北陸地方会 (2020.10)
99. 過粘稠症候群による脳静脈洞血栓症で発症したIgG4関連疾患の一症例	診療部長	細山幸子 他11名	第158回日本神経学会東海北陸地方会 (2020.10)

精神科

100.「回復の4つのプロセスとその支援」の試案：対応困難なケースに対して見通しをもった支援を行うために	技師	若山和樹 他2名	第39回日本心理臨床学会 (2020.11)

消化器科

101. イレウスを繰り返し診断に難渋した回腸子宮内膜症の1例	専攻医	小島匡貴 他12名	第240回日本内科学会東海地方会 (2020.2)
102. 小腸内視鏡で診断し得た好酸球性腸炎の1例	専攻医	朝倉千晴 他14名	第242回日本内科学会東海地方会 (2020.10)

救急科

103. 災害現場での病態評価	副院長	北川喜己	災害医療2020 大規模イベント、テロ対応を含めて(2020.6)
104. DMORT	副院長	北川喜己	救急用語事典　改訂第2版増補 (2020.10)
105. 重症骨盤骨折に対し2回TAEを施行し殿筋壊死を来した1例	医員	小川健一朗 他4名	第34回日本外傷学会総会・学術集会 (2020.12)
106. 早期リハビリテーションにより良好なADLが得られた重症破傷風の2例	医員	小川健一朗 他5名	第47回日本集中治療医学会総会・学術集会 (2020.12)
107. JMAT派遣で役に立つ外傷初期診療講習会(医師会版PTLS)開催から見えてきたもの	副院長	北川喜己 他1名	第25回日本災害医学会総会・学術集会 (2020.2)
108. 胸部刺創でHilar twistを行い社会復帰を果たした一例	初期研修医	水谷真也 他7名	第48回日本救急医学会総会・学術集会 (2020.11)
109. Reversed halo sign及びD-dimer高値より診断に至った肺動脈塞栓症の一例	医員	柳内　愛 他7名	第48回日本救急医学会総会・学術集会 (2020.11)
110. 当院におけるREBOA使用症例の後方視的検討	医員	小川健一朗 他5名	第48回日本救急医学会総会・学術集会 (2020.11)
111. 両上肢の倦怠感を主訴に来院し後に意識障害を来した上矢状静脈洞血栓症の一例	初期研修医	萩本美帆 他7名	第48回日本救急医学会総会・学術集会 (2020.11)
112. Budd-Chiari 症候群が原因と考えられた劇症肝炎の一例	後期研修医	須網和也	第47回日本集中治療医学会総会・学術集会 (2020.12)
113. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他1名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.1)
114. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他2名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.2)
115. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他1名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSインストコース (2020.2)
116. 胸部外傷・腹部外傷	診療部長	高木省治	名古屋市消防学校救急課程講演 (2020.1)
117. 外傷総論	副院長	北川喜己	名古屋市消防学校救急課程講演 (2020.1)
118. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川喜己 他10名	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会(PTLSコース) (2020.1)
119. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋大学病院ICLSコース (2020.2)
120. 当院救命救急センターに搬送された患者について	副院長	北川喜己 他2名	掖済会CPA症例検討会 (2020.1)
121. 災害時の消防と医療の連携について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修会 (2020.1)

122. プレホスピタルにおける外傷の観察と処置	副院長 北川喜己	知多JPTECプロバイダーコース (2020.2)
123. 大量殺傷型テロ時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己 他2名	災害時多数傷病者対応(MCLS)講習会(テロ対応病院コース)：聖隷浜松病院 (2020.2)
124. 環境障害・異物・溺水・その他創傷処置	診療部長 高木省治	名古屋市消防学校救急課程講演 (2020.2)
125. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他10名	掖済会ICLSコース (2020.2)
126. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長 北川喜己	名古屋市医師会トリアージ研修会 (2020.2)
127. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他6名	掖済会BLSコース (2020.4)
128. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他10名	掖済会ICLSコース (2020.4)
129. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他2名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(研修医コース) (2020.6)
130. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他3名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(研修医コース) (2020.7)
131. マスギャザリングから見た医療支援のあり方	副院長 北川喜己	名古屋ロータリークラブ講演会 (2020.7)
132. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己 他2名	災害時多数傷病者対応(MCLS)講習会インストコース：掖済会 (2020.8)
133. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他10名	掖済会ICLSコース (2020.8)
134. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他1名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.9)
135. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他10名	掖済会ICLSコース (2020.9)
136. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己 他2名	海部外傷セミナー(JPTEC更新コース) (2020.10)
137. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他1名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.10)
138. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他10名	掖済会ICLSコース (2020.10)
139. 外傷総論	副院長 北川喜己	愛知県消防学校救急課程講演 (2020.11)
140. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長 北川喜己 他9名	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会(PTLSコース) (2020.7)

141. 心肺蘇生法の知識と実践	医員	前田 遥 他1名	掖済会病院JMECCコース (2020.10)
142. 災害時の傷病者対応の原則について	診療部長	高木 省治 他1名	CBRNE災害時多数傷病者対応(MCLS-CBRNE)講習会 (2020.10)
143. プレホスピタルにおける外傷の観察と処置	副院長	北川 喜己 他1名	豊橋外傷セミナー(JPTECミニコース) (2020.11)
144. 災害時の消防と医療の連携について	副院長	北川 喜己	愛知県外科医会講演会 (2020.11)
145. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川 喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.11)
146. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川 喜己 他1名	愛知県医師会多発外傷初期診療講習会(PTLSコース) (2020.11)
147. 救急医の立場で関わる脳死下臓器提供	副院長	北川 喜己	札幌東徳洲会病院臓器移植講演会(Web) (2020.12)
148. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川 喜己 他2名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2020.12)
149. 救急初期診療の知識と実践	医員	萩原 康友	掖済会救急初期診療講習会(ELIETコース) (2020.11)
150. 災害時の消防と医療の連携について	副院長	北川 喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)講習会：神戸 (2020.12)
151. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川 喜己	美浜町潜在看護師研修会 (2020.11)
152. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川 喜己	大府市潜在看護師研修会 (2020.11)
153. 当院での血管内治療の現状	医員	小川 健一朗	てんかん診療の病診連携について考える会 (2020.2)

外科・肛門科・呼吸器外科・乳腺外科

154. TAPP法で根治術を行った白線ヘルニアの1例	医員	尾入 保彰 他5名	日本内視鏡外科学会雑誌 (2020.7)
155. 脳室腹腔シャントチューブが横行結腸内へ迷入した1例	専攻医	加藤 真司 他5名	日本内視鏡外科学会雑誌 (2020.7)
156. 若年乳癌治療後の傍胸骨リンパ節転移に対し、放射線治療と内分泌治療を行い長期間無再発生存している一例	医員	秋田 由美子 他2名	日本乳癌学会学術総会 (2020.10)
157. 当院におけるロボット支援下胃切除の短期成績	診療部長	加藤 祐一郎 他12名	日本臨床外科学会総会 (2020.10)
158. 脳室腹腔シャントチューブが横行結腸内に迷入した1例	専攻医	加藤 真司 他14名	日本臨床外科学会総会 (2020.10)
159. IPDA動脈瘤破裂に対しコイル塞栓術を施行した1例	専攻医	加藤 真司 他13名	愛知臨床外科学会 (2020.2)

160. 異なる組織型を呈した同時性同側性多発乳癌の2例	診療部長 木村桂子 他2名	日本乳癌学会学術総会	(2020.10)
161. 乳房全体に進展を示した乳房Paget病の一例	専攻医 小澤千尋 他2名	日本乳癌学会学術総会	(2020.10)

整形外科

162.【STEP by STEPの写真と図で理解する手指の外傷治療】 伸筋腱損傷(ZoneⅢ・Ⅳ)(解説／特集)	診療部長 太田英之 他3名	PEPARS158：75-81	(2020)
163. 人工股関節全置換術後に転倒によりライナーの破損をきたした1例	診療部長 水野直樹 他2名	整形外科71：879-883	(2020)
164. 高齢者における25(OH)Dとカルシウム値の関係	診療部長 水野直樹 他2名	整形外科71：1395-1397	(2020)
165. Prognostic factors for postoperative complications after K-wire fixation for paediatric forearm fractures：A multivariate analysis	医長 Yuki Fujihara 他2名	Journal of Pediatric Orthopaedics B	(2020)
166. Outcomes of "Cross-coupling Suture Button Suspensionplasty" for Thumb Carpometacarpal Joint Osteoarthritis：A Preliminary Report	診療部長 Hideyuki Ota 他3名	The Journal of Hand Surgery Asian-Pacific Volume	(2020)
167. Maisonneuve骨折診断における腓骨近位部骨折見逃しのリスク因子	後期研修医 酒井愛	第361回南整会	(2020.1)
168. 骨粗鬆症治療における25(OH)D測定の意義	診療部長 水野直樹	第355回南整会	(2020.1)
169. 患者立脚型評価からみた指基節骨骨折の術後成績に影響する因子の検討	医員 加納寛之 他4名	第93回日本整形外科学会	(2020.5)
170. Maisonneuve骨折の見落としのリスク因子についての検討	後期研修医 酒井愛 他5名	第46回日本骨折治療学会	(2020.9)
171. 肘頭骨折患者において労災補償の有無が治療内容および治療コストに与える影響について	専攻医 石原典子 他5名	第46回日本骨折治療学会	(2020.9)
172. 踵骨骨折に対する術中整復のための創外固定を併用したプレート治療経験	医員 日高慧貴	第46回日本骨折治療学会	(2020.9)
173. 壊死性軟部組織感染症との鑑別に苦慮した壊死性膿皮症の1例	佐藤駿文 診療部長 太田英之 他1名(※1名)	第135回中部日本整形外科災害外科学会	(2020.10)
174. アメリカへの臨床研究留学のススメ	医長 藤原祐樹	第47回日本マイクロサージャリー学会	(2020.11)
175. 複数の末節部切断に対し前腕からの有利静脈皮弁で治療した3例	専攻医 櫻井咲 他11名(※1名)	第47回日本マイクロサージャリー学会	(2020.11)
176. 前腕分節型骨折を合併したGustilo-ⅢBfloating elbowの1例	診療部長 太田英之	Peer review meeting in Tokai	(2020.6)
177. 地域で診る骨折診療 ～コロナ禍での治療から予防～	診療部長 熊谷寛明	Bone Management Web セミナー	(2020.12)

形成外科

178. 眼窩底骨折に対する経結膜切開を助手なしで行う際の一工夫	医員	坪井憲司	第63回日本形成外科学会総会・学術集会 (2020.8)

脳神経外科

179. 当院における脊椎術後離開創に対するVAC療法の使用経験	医長	福岡俊樹 他4名	第35回日本脊髄外科学会 (2020.11)
180. 急激に進行し治癒し得なかった多発硬膜動静脈瘻の一例	医員	鈴木啓太 他4名(※2名)	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2020.11)
181. 頚動脈ステント後の慢性期再狭窄の特徴とその要因の検討	診療部長	鈴木宰 他4名	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会 (2020.11)
182. 頚動脈ステント後の慢性期再狭窄の特徴とその要因の検討	診療部長	鈴木宰 他4名	第49回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2020.8-9)

心臓血管外科

183. Maze手術後の難治性心房性不整脈	医員	山田真史 他3名(※1名)	胸部外科 (2020.11)
184. Stanford A型急性大動脈解離緊急手術例における術前fibrinogen値がその手術と術後経過に与える影響	診療部長	桑原史明 他2名(※1名)	第63回関西胸部外科学会 (2020.8)

耳鼻咽喉科

185. 喉頭白斑症など良性疾患と早期悪性腫瘍に対する診断と治療について	医長	片平信行	日本医事新報 (2020.10)
186. 気管カニューレ抜去困難症に対する輪状軟骨開窓症例	医員	管太一 他2名	第28回みなみ名古屋耳鼻咽喉科学会 (2020.1)
187. 岐阜放送　今日もラジオは⁉ 2時6時	医長	片平信行	お客様いらっしゃいのコーナー出演 (2020.12)

歯科口腔外科

188. 舌の線維束性収縮を契機に診断された筋萎縮性側索硬化症の1例	医員	石濱嵩統 他5名	日本口腔外科学会雑誌66(11)：49-54 (2020.11)
189. 名古屋掖済会病院救命救急センター受診患者における歯科口腔外科診療の臨床的統計的観察	医員	長谷川博亮 他4名	日本有病者歯科医療学会雑誌29(2)：9-16 (2020.2)
190. 高齢者の下顎骨関節突起骨折に関する臨床的検討	医員	林宏紀 他4名	日本歯科医療管理学会雑誌55(1)：55-60 (2020.1)
191. 介護老人保健施設の歯科検診と医療連携についての考察	診療部長	阿部厚 他6名	日本歯科医療管理学会雑誌55(3)：164-171 (2020.3)
192. 当科における口腔内異物に対する外科的治療戦略	医員	石濱嵩統 他8名	NPO法人日本口腔外科学会学術集会 (2020.4)
193. 上唇に発生した小唾液腺唾石症の1例	歯科研修医	桃北萌子 他5名	日本口腔外科学会中部支部学術集会 (2020.10)
194. 魚骨が感染源と同定しえた舌膿瘍の1例	歯科研修医	桃北萌子 他4名	日本口腔外科学会総会・学術大会 (2020.11)
195. 児童虐待による下顎骨骨折の治療経験及び歯科医師に役割について	歯科研修医	桃北萌子 他4名	NPO法人日本口腔外科学会学術集会 (2020.4)

麻酔科

196.	全身麻酔と脊髄幹麻酔がハイリスクな症例に対し、末梢神経ブロックで安全に大腿切断術を行った一例	専攻医 古橋聖子 他2名（※1名）	日本臨床麻酔学会第40回大会 (2020.11)
197.	覚醒下挿管で、気管支ファイバーよりもMcGRATH™MACとガムエラスティックブジーの併用が有用であった一例	専攻医 宮田尊安 他2名（※1名）	日本臨床麻酔学会第40回大会 (2020.11)

薬剤部

198.	感染徴候がマスクされたtocilizumab投与中の菌血症症例を機に取り組んだ院外薬局との連携	主任薬剤員 二神諒子 他5名（※1名）	第35回日本環境感染学会総会 (2020.2)
199.	当院の入退院支援室における薬剤師業務 ―入院支援時の薬学的介入―	副薬剤部長 新井孝文 他4名	第4回日本老年薬学会学術大会シンポジウム12 ※Web開催 (2020.6)
200.	入院支援室薬剤師と化学療法センター薬剤師の連携の事例	副薬剤部長 新井孝文 他7名	第30回日本医療薬学会年会 (2020.10)
201.	がん化学療法時の糖尿病マネジメント	副薬剤部長 中村敏史 他5名	第30回日本医療薬学会年会 (2020.10)
202.	入院支援室における薬剤師の役割 ～安全かつ効率的な入院支援体制の構築～	主任薬剤員 安田愛実 他5名	日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会2020 (2020.11)
203.	NSCLCに対するCBDCA+nabPTX併用療法の治療強度と有効性についての検討	主任薬剤員 髙取裕司 他2名（※12名）	第61回日本肺癌学会学術集会 (2020.11)
204.	薬物乱用防止研修「処方薬依存とその対策」	副薬剤部長 中村敏史	名古屋市環境局令和2年度薬物乱用防止研修 (2020.12)

リハビリ部

205.	腱損傷のハンドセラピィ	主任技師 稲垣慶之 （※9名）	作業療法マニュアル (2020.2)
206.	外傷性手部コンパートメント症候群に対する減張切開術後のアウトリガースプリントを用いた術後セラピィの治療成績	技師 加藤雅大 他3名	日本ハンドセラピィ学会誌 (2020.7)
207.	Double plate固定法を用いた成人上腕骨遠位部骨折の治療とリハビリテーション	主任技師 稲垣慶之 他2名	第32回日本肘関節学会 (2020.2)
208.	交通外傷により頚髄損傷及び左脛骨腓骨骨幹部骨折を呈した症例における理学療法の経験	技師 中尾弥歩 他4名	第29回愛知県理学療法学術大会 (2020.3)
209.	手根中央関節と橈骨手根関節からみた橈骨遠位端骨折術後早期ハンドセラピィ	主任技師 稲垣慶之 他4名（※1名）	第32回日本ハンドセラピィ学会（シンポジウム） (2020.4)
210.	橈骨遠位骨折症例に対する術後早期での手根中央関節と橈骨手根関節の可動域の解析	主任技師 稲垣慶之 他2名	第63回日本手外科学会 (2020.4)

211.	高齢心不全患者における介護度別の急性リハビリテーションの経過	主任技師 恒川裕気 他5名	第26回日本心臓リハビリテーション学会 (2020.7)
212.	心疾患患者における歩行速度と運動耐容能との関連　回復期または維持期における検討	技師 寺澤莉奈 他5名	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (2020.7)
213.	橈骨遠位端骨折の術後セラピィの最前線～術後早期のセラピィ～	主任技師 稲垣慶之	第7回中部ハンドセラピィ研究会 (2020.1)
214.	橈骨遠位端骨折のハンドセラピィの実際	主任技師 稲垣慶之	第54回日本作業療法学会 (2020.9)
215.	急性期病院における病棟ケア介入の当院のADL訓練の実践報告	副技師長 島田満雄	脳卒中連携パス拡大合同会議 (2020.11)

臨床工学部

216.	人工呼吸器関連機器ユーザーレポート Drager社製人工呼吸器Evita infinity V500 「充実したツールの活用と自発呼吸の同調性」	主任技師 中井浩司 他1名	「人工呼吸」Jpn J Respir Care 第37巻1号（日本呼吸療法学会：頁110-111） (2020.5)
217.	～ICDの選択～	主任技師 森下雄亮	東海テクニカルセミナーWEB Report （BIOTRONIK社） (2020.6)
218.	乳幼児急性細気管支炎におけるHFNC導入前後5年間の比較	技師 藤村真伊 他12名	愛知県臨床工学技士会誌 第11号：頁30-32 (2020.3)
219.	IABP至適タイミングの再考 ―圧波形と脈波到達時間の臨床的検討―	主任技師 中井浩司 他2名（※3名）	第47回日本集中治療医学会学術集会 (2020.3)
220.	IABP至適タイミングの再考 ―DABAC/SABAC指数より―	主任技師 中井浩司 他1名（※3名）	第84回日本循環器学会 (2020.8)
221.	Post Procedual Physiological Assessment of CTO Lesion	技師 安田奈央 他13名	TCTAP & AP VALVES 2020 Virtual (2020.8)
222.	ECMO迅速導入を目指したハイブリッドERへの挑戦	技師 安田奈央 他5名	日本心血管インターベンション治療学会第43階東海北陸地方会 (2020.10)
223.	院外心停止患者に対する迅速なECMO導入への取り組み	技師 安田奈央 他13名	Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2020 (2020.11)
224.	高炭酸ガス血症の誤認からETCO2センサーのアルゴリズム改善及び製品改良につながった症例	主任技師 中井浩司 他3名（※2名）	日本集中治療医学会第4回東海北陸支部学術集会 (2020.11)
225.	遠心分離法を用いた血漿交換療法の試み	副技師長 土井厚 他3名	第65回日本透析医学会学術集会 (2020.11)
226.	Dream wearネーザルマスクの活用がせん妄リスク患者に対して呼吸管理の継続を可能にした2症例	主任技師 中井浩司 他5名	第42回日本呼吸療法医学会 (2020.12)
227.	高濃度酸素下での呼吸管理を継続した患者搬送と酸素ボンベのリスクに関する実験的検討	技師 安田奈央 他3名	第42回日本呼吸療法医学会 (2020.12)

228. 周術期管理に関わる臨床工学技士を主としたコメディカルスタッフの知識向上と技術向上のため 「周術期管理における人工呼吸療法について～肺保護とアセスメント～」	主任技師 中井浩司	日本集中治療医学会東海北陸支部「第1回臨床工学セミナー」 (2020.1)
229. 生涯教育委員会 シンポジウム パネルディスカッション	技師 安田奈央	第30回日本臨床工学技士会 (2020.5)
230. ICDの話題	主任技師 森下雄亮	BIOTRONIK主催「東海テクニカルセミナー」 (2020.3)
231. 症例発表 「当院でのCRT患者の設定方法」	主任技師 森下雄亮	Abbott主催 Gallantロンチ CRT-Web Seminar (2020.10)
看護部		
232. 一般病棟に勤務する卒後2年目看護師が認知症高齢者の退院支援において抱く課題とニーズ	看護師 橋川由緋	第40回日本看護科学学会学術集会 (2020.12)
233. 医療基礎コース「看護学（実技）」	看護師長 佐藤則子 他4名	公益社団法人日本診療放射線技師会 (2020.2)
234. 新型コロナウイルス感染予防対策について	看護師長 横井博子	えきさい看護専門学校（2020.4）
235. ポケット形成した褥瘡に対する処置方法	主任看護師 櫻井美智	令和2年度愛知県委託 在宅・介護領域職員研修事業における研修会 訪問看護ステーション出前講座 (2020.1)
236. 小児のフィジカルアセスメント～子どもの状態を的確に把握するためのポイント～	看護師長 小山田 惠 他1名	愛知県看護協会継続教育研修 (2020.1)
237. 当院におけるCOVID-19疑い患者の救急搬送受け入れ状況と課題	看護師長 横井博子	Fitテスト研究会Webセミナー (2020.1)
238. 医療機器の感染管理～COVID-19を経験して	看護師長 横井博子	MEセミナー（2020.12-2021.1）
239. ICLS講習会	主任看護師 宮脇夏生 他2名	名古屋掖済会トレーニングサイト (2020.8-10)
情報管理センター		
240. COVID-19対策 退院時ケアカンファレンスのWEB会議対応とその求められる成果	センター長 奥村幸光 他3名	MIRF共催 第40回医療情報学連合大会 (2020.11)
241. 後方連携施設と当院におけるWEBカンファレンスの取り組み～WEBケアカンファレンスに求められる成果～	センター長 奥村幸光 他3名	令和2年度大学病院情報課マネジメント部門連絡会議（2021.1）
シミュレーションセンター		
242. 台風19号災害における各種医療チームの特性を活かした避難所アセスメントの考察	センター長補佐 丹羽一晃 他2名	第25回日本災害医学会総会・学術集会 (2020.2)
243. 病院前における内因性疾患の観察と判断	センター長補佐 丹羽一晃	豊田厚生病院PEMECコース (2020.1)

244. 多発外傷初期診療の知識と実践	センター長補佐　丹　羽　一　晃	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会（PTLSコース）（2020.1）
245. 救急救命士の拡大処置について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	名古屋医専救急救命学科講演（2020.1）
246. 中毒・環境障害・災害医療	センター長補佐　丹　羽　一　晃	名古屋医専救急救命学科講演（2020.1）
247. 災害時の消防と医療の連携について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	災害派遣医療チーム（DMAT）講習会：神戸（2020.1）
248. 病院前における内因性疾患の観察と判断	センター長補佐　丹　羽　一　晃	三重PEMECコース（2020.2）
249. 災害時の傷病者対応の原則について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	災害時多数傷病者対応（MCLS）講習会（テロ対応病院コース）：聖隷浜松病院（2020.2）
250. 心肺蘇生法の知識と実践	センター長補佐　丹　羽　一　晃	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース（2020.6）
251. 災害時の傷病者対応の原則について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	災害時多数傷病者対応（MCLS）講習会インストラクターコース（2020.8）
252. 病院前における内因性疾患の観察と判断	センター長補佐　丹　羽　一　晃	一宮PEMECコース（2020.9）
253. 災害時の傷病者対応の原則について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	CBRNE災害時多数傷病者対応（MCLS-CBRNE）講習会（2020.10）
254. 災害時の傷病者対応の原則について	センター長補佐　丹　羽　一　晃	災害時多数傷病者対応（MCLS）講習会：豊田厚生病院（2020.10）
255. プレホスピタルにおける外傷の観察と処置	センター長補佐　丹　羽　一　晃	海部JPTEC更新コース（2020.10）
256. プレホスピタルにおける外傷の観察と処置	センター長補佐　丹　羽　一　晃	豊橋JPTEC更新コース（2020.11）
257. 多発外傷初期診療の知識と実践	センター長補佐　丹　羽　一　晃	愛知県医師会多発外傷初期診療講習会（PTLSコース）（2020.11）
258. 病院前における内因性疾患の観察と判断	センター長補佐　丹　羽　一　晃	東部医療センターPEMECコース（2020.11）

大阪掖済会病院（№259.～305.）

259. 上肢偽関節、骨欠損に対する遊離、有茎血管柄付き骨移植術	副　院　長　五　谷　寛　之　他4名	第63回日本手外科学会（2020.6-8）
260. 挫滅指の再建　マイクロサージャリーと骨軟部組織延長の融合による	副　院　長　五　谷　寛　之　他8名	第63回日本手外科学会（2020.6-8）
261. 肘関節周辺開放骨折に対する軟部組織修復　骨延長、骨軟骨移植を含む	副　院　長　五　谷　寛　之　他4名	第63回日本手外科学会（2020.6-8）

262.	指用イリザロフ創外固定器による骨軟部組織延長	副院長 五谷寛之 他8名	第134回中部日本整形外科災害外科学会 (2020.4)
263.	手外科領域における骨軟部組織延長の最前線	副院長 五谷寛之 他8名	第33回日本創外固定骨延長学会 (2020.9)
264.	65歳以上における手上肢領域の重度損傷の加療　骨接合と関節可動域訓練の工夫を含めて	副院長 五谷寛之 他4名	第63回日本整形外科学会 (2020.6-8)
265.	指尖部再建に必要なテクニック	副院長 五谷寛之 他4名	第47回日本マイクロサージャリー学会 (2020.11)
266.	創外固定による手外科領域の組織延長手術	副院長 五谷寛之	第29回山口県骨折治療研究会 (2020.2)
267.	上肢外傷再建のコツとピットフォール―コロナ時代における骨軟部組織延長の外来管理を含めて―	副院長 五谷寛之	第77回中国四国手外科症例検討会 (2020.11)
268.	手の造形手術　―手外傷を扱うマイクロサージャンに知って欲しいマイクロと骨軟部組織延長の融合手技―	副院長 五谷寛之	第47回日本マイクロサージャリー学会 (2020.11)
269.	上肢重度再建のための手の造形手術	副院長 五谷寛之	第2回大阪整形外科webセミナー (2020.12)
270.	末梢神経縫合、自家神経移植、神経移行術、神経再生誘導術の基礎と現状	副院長 五谷寛之 他8名	PEPARS 159号200-210ページ (2020)
271.	手指腱縫合症例に対する超音波評価の有用性	診療局長 田中祥貴 他5名	第63回日本手外科学会 (2020.6-8)
272.	手指腱縫合症例に対する超音波評価の有用性	診療局長 田中祥貴 他5名	第134回中部日本整形外科災害外科学会 (2020.4)
273.	放射線技師による手術当日のエコー下神経・血管評価の有用性	診療局長 田中祥貴 他5名	第47回日本マイクロサージャリー学会 (2020.11)
274.	複数指切断の治療困難症例に対しIlizarov創外固定を用い再建行った症例	医員 窪田穣 他4名	第134回中部日本整形外科災害外科学会 (2020.4)
275.	示指MP関節開放性脱臼骨折後に変形治癒と骨萎縮をきたした1例	医員 八木寛久 他4名	第134回中部日本整形外科災害外科学会 (2020.4)
276.	ヒト咬創による指尖部切断の2例	医員 八木寛久 他4名	第47回日本マイクロサージャリー学会 (2020.12)
277.	肘部管症候群手術症例における術前電気生理学的検査と術後成績の関連	医員 岡本幸太郎 (※4名)	第134回中部日本整形外科災害外科学会 (2020.4)
278.	Vasculalized bone graft for reconstruction of upper extremities	副院長 Hiroyuki Gotani 他3名	第12回アジア太平洋手外科学会 (2020.3)
279.	Treatment of complex injuries in the hand-Combined technique using microsurgery and external fixator-"Formative hand surgery-	副院長 Hiroyuki Gotani	SICOT PIONEER Live Webinar - Salvaging a Mangled Extremity (SAME) : the emergency management protocol (2020.9)

280. The effectiveness of distraction lengthening in traumatic hand amputation with Ilizarov mini fixator	副院長	Hiroyuki Gotani 他6名（※1名）	Injury 51巻（12号）2966-2969ページ (2020)
281. Effectiveness of ultrasonographic evaluation under general anesthesia for radial nerve palsy associated with humeral fractures during the first operation.	診療局長	Yoshitaka Tanaka 他4名（※1名）	Journal of Ultrasound 23巻（3号）327-334ページ (2020)
282. 閉塞性大腸炎による腸間膜内出血を契機に切除したS状結腸癌の1例	医長	池谷哲郎 他4名	第75回日本消化器外科学会総会 (2020.12)
283. 再発を繰り返した早期大腸癌（T1b）の1例	医長	池谷哲郎 他4名	第75回日本大腸肛門病学会学術集会 (2020.11)
284. 胃癌腹膜播種に対しconversion surgeryを行い病勢コントロールが得られている1例	医長	池谷哲郎 他4名	第42回日本癌局所療法研究会 (2020.5)
285. 術後5年を経過し発症した孤立性肺転移に対し、腹腔鏡下肺切除を施行した胆管癌の1例	医長	池谷哲郎 他4名	第56回日本肝癌研究会 (2020.12)
286. 計6回の外科手術を含めた集学的治療により長期QOL維持し得た転移再発結腸癌の1例	医長	城月順子 他4名	第42回日本癌局所療法研究会 (2020.5)
287. A case of rectal GIST harboring secondary mutation of exon 17 treated with regorafenib	医長	城月順子 他4名	第75回日本消化器外科学会総会 (2020.12)
288. 爪楊枝誤飲による小腸穿孔を契機に切除し得た盲腸癌の一例	医員	孝橋里花 他4名	第82回日本臨床外科学会学術集会 (2020.11)
289. 肺およびリンパ節転移再発に対する集学的治療にて長期生存をえた直腸癌の一例	医員	孝橋里花 他4名	第31回消化器癌発生 (2020.11)
290. 乳癌エリブリン化学療法における腫瘍浸潤リンパ球および好中球・リンパ球比の臨床的意義	医員	孝橋里花 （※11名）	第120回日本外科学会学術集会 (2020.8)
291. 腫瘍免疫により捉えた乳癌エリブリン化学療法における局所・全身反応の相互作用	医員	孝橋里花 （※10名）	第28回日本乳癌学会学術集会 (2020.1)
292. 大腸内視鏡検査および腹部造影超音波検査で虫垂憩室出血を診断した1例（原著論文／症例報告）	医員	田中智英子 他4名	日本大腸肛門病学会雑誌 (2020.5)
293. 放射線検査および被曝について	技師長	坂元誠	大阪掖済会病院内研修（2020.5）
294. 放射線安全管理	技師長	坂元誠	大阪掖済会病院内研修（2021.3）
295. 一次読影胸部（肺野）CT編	主任	松葉貢丹夫	大阪掖済会病院放射線科内発表 (2020.7)
296. 橈骨遠位端骨折後の掌側プレート接触によるFPL（長母指屈筋）腱の摩擦をパルスドプラーでの評価について	副主任	前山美誠 他6名	大阪腹部超音波研究会（2020.4）

297. 膵NETについて	副主任	前山美誠	大阪掖済会病院放射線科内発表 (2020.4)
298. 絞扼性腸閉塞における7項目評価の有用性	副主任	前山美誠	超音波テクノ（掲載）(2020.11)
299. 腱断裂後の評価	副主任	前山美誠 他6名	日本超音波医学会第92回全国学術集会 (2020.12)
300. 造影超音波検査で指摘しえた虫垂憩室出血の一例	副主任	前山美誠 他6名	日本超音波医学会第92回全国学術集会 (2020.12)
301. 性腺ホルモンについて	副主任	野島大亮	大阪掖済会病院放射線科内発表 (2020.8)
302. Dupuytren's拘縮の手術における術前超音波の有用性	副主任	野島大亮 他6名	日本超音波医学会第92回全国学術集会 (2020.12)
303. 新人看護職員研修ポジショニング.ROM.廃用	副技師長	上野有毅	大阪掖済会病院内研修 (2020.4)
304. 新人看護職員研修トランスファー技術	副主任	山村智子 他1名	大阪掖済会病院内研修 (2020.4)
305. 独居がん患者治療に対する地域連携としての関わり	副主任	松本祐馬 他10名	第13回日本医療マネジメント学会大阪支部学術集会 (2020.9)

神戸掖済会病院 (№306.～351.)

306. 自己免疫性膵炎について	医長	橋本学 他1名	神戸新聞Q&A (2020.10)
307. Non-sinus type 硬膜動静脈瘤の一例	部長	富永貴志 他6名	第49回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2020.8)
308. 頸部巨大血栓化動脈瘤の一例	部長	富永貴志 他6名	第79回日本脳神経外科学会学術総会 (2020.10)
309. A2起始部に高度狭窄を有する未破裂前交通動脈瘤に対しA3-A3bypassを先行させてクリッピングをおこなった1例	医長	宮田至朗 他6名	第6回瀬戸内脳外科手術手技研究会 (2020.10)
310. 脳底動脈先端部破裂動脈瘤に対する開頭クリッピング術の2例	医長	宮田至朗 他6名	第50回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2021.3)
311. 術前検査で血栓回収術を回避できた一例	医長	林真人 他6名	第46回日本脳卒中学会学術集会 (2021.3)
312. 頸部巨大血栓化動脈瘤の一例	医員	樋上真之 他6名	第50回日本脳卒中の外科学会学術集会 (2021.3)
313. 突然の頭痛と一過性左上下肢麻痺にて発症した頸椎硬膜外血腫の1例	医員	駒井崇紀 他6名	第46回日本脳卒中学会学術集会 (2021.3)
314. 介護士男性の職務中に生じた右小指蜂窩織炎および骨髄炎に対して早期壊死組織郭清行い救指を得た1例	医員	南裕介 他2名	第482回日本皮膚科学会大阪地方会 (2020.12)

315. 乳房外Paget病および大腸癌既往患者の左鼠径部リンパ節腫大に対してエコー検査およびリンパ節生検行い悪性リンパ腫を診断した1例	医員	南 裕介 他2名	第483回日本皮膚科学会大阪地方会 (2021.2)
316. 麻疹風疹混合ワクチンの接種後に生じたStenvens-Johnson症候群の1例	医員	寒川 愛美 他2名	第484回日本皮膚科学会大阪地方会 (2021.3)
317. 高齢者の総胆管結石性胆管炎で保存的治療を選択した場合の予後	研修医	松浦 一義 他3名	第48回日本救急医学会総会 (2020.11)
318. β遮断薬内服患者のアドレナリン抵抗性アナフィラキシーショックにグルカゴンが有効であった一例	研修医	井上 美奈子 他3名	第48回日本救急医学会総会 (2020.11)
319. β遮断薬内服患者のアドレナリン抵抗性アナフィラキシーショックにグルカゴンが有効であった一例	部長	馬屋原 拓 他3名	日本集中治療医学会雑誌 (2021.2)
320. 臨床倫理について	医長	中ノ瀬 晃一	神戸北西地区循環器アライアンス (2020.12)
321. 心房細動アブレーションについて	医長	小谷 健	カテーテルアブレーションweb canference (2020.8)
322. 心房細動アブレーションについて	医長	小谷 健	神戸西エリア地域連携カンファレンス (2020.11)
323. 心房細動アブレーションについて	医長	小谷 健	心房細動の医療連携を考えるin神戸 (2021.2)
324. 心房細動アブレーションについて	医長	小谷 健	神戸アベレーション連携web seminar (2021.3)
325. 外方回旋偏位に対する下直筋・上斜筋併用手術	医員	松岡 大貴 他5名	第124回日本眼科学会学術集会 (2020.4)
326. 心不全患者の心理的支援・療養生活支援	看護師	森井 美里	第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (2020.7)
327. ユマニチュード技法を実施した看護師の意識の変化	看護師	齋藤 真菜 他2名	令和2年度兵庫県看護協会看護実践研究会 「輝かせよう実践の知」 (2020.11)
328. はじめまして糖尿病 ～糖尿病と暮らす～	看護師	加藤 帆乃佳	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
329. 頸椎損傷患者の肺炎再発を予防の呼吸援助と関わり	看護師	岩﨑 佳代	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
330. 摂食障害のある患者の自宅退院を目指した日常生活援助～自尊心を尊重し患者と共にケアを行う重要性～	看護師	伊藤 橘菜	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
331. 入退院を繰り返すターミナル期の心不全患者との関わりについて～意思表示を尊重した退院調整～	看護師	田村 友梨	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
332. ICUにおける面会禁止中の家族のケア～ICUダイアリーを活用した関わり～	看護師	藤井 麻由	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)

333. 永久的人工肛門を造設した患者とその確立を通して学んだこと	看護師	蘆田夏帆	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
334. 長期臥床が予想される大腿骨頸部骨折患者の廃用症候群予防に関する関わり	看護師	村上芽以	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
335. 四肢拘縮が強い患者の褥瘡ケアから学んだこと	看護師	松本真波	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
336. 緊急人工肛門造設術を受けた患者の受容に向けた援助の実際を通し学んだこと	看護師	森藤碧衣	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
337. 患者・家族の意思を尊重した退院支援	看護師	佐伯美智子	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
338. ストーマ患者への早期退院に向けたセルフケア獲得への支援	看護師	淡井仁美	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
339. 摂食嚥下障害のある患者に対する誤嚥性肺炎の予防～家族の意向に沿った食事援助～	看護師	大植尚邦	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
340. 排泄行動の確立に関連したADL向上への援助～機能的自立評価法(FIM) を用いたADLの自立支援～	看護師	三島　颯	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
341. 心筋梗塞後の患者・家族への指導方法について～職場復帰を目指して～	看護師	井實梨嘉	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
342. 局所麻酔手術を受ける患者の看護 ～ハローベストを装着した患者の側臥位における臀部腫瘍切除術～	看護師	寺下智美	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
343. ストーマ装具の選択とケアについて ～ストーマ管理トラブル多発に対して～	看護師	宮田貴明	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
344. 人工骨頭置換術後の自宅退院へ向けての看護～脱臼予防の指導～	看護師	北村茉由	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
345. レスパイト入院患者に対する看護～在宅療養中の生活スタイルを尊重した看護～	看護師	佐藤祐太朗	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
346. 頸椎損傷の患者に対するケアの統一の重要性について～精神的ケアを行うために～	看護師	青木麻樹	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
347. くも膜下出血でクリッピング術後における苦痛緩和への関わり方　～ADL・QOLの向上に繋がる看護の実践～	看護師	矢野芙実	神戸掖済会病院内ケース発表会 (2021.2)
348. 脳出血後に認めた非麻痺側上下肢の運動異常によりリハビリテーションに難渋した症例	作業療法士	今田泰裕 他2名(※1名)	第44回日本高次脳機能障害学会学術集会 (2020.11)
349. 栄養アセスメントについて	主任管理栄養士	岡本貴子	神戸掖済会病院第2回NSTトピックス (2020.11)
350. ガイドラインが新しくなった食事療法	主任管理栄養士	岡本貴子 (※6名)	糖尿病療養指導士兵庫県連合会動画配信 (2020.7)

351.	経管栄養法の実際	主任管理栄養士　岡　本　貴　子 （※15名）	神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成プログラム「栄養医療コース：兵庫NST研修会プログラム」　(2021.3)

門司掖済会病院 (№352.～356.)

352.	「ご飯」は日本人の強い味方？ちょい悪？	院　長　藤　井　健一郎	北九州のアクティブシニア向け生活情報誌「さくら」　(2020.7)
353.	Initial Report: A Novel Intraoperative Navigation System for Laparoscopic Liver Resection Using Real-Time Virtual Sonography	外科部長　坂　田　晃一朗 （※2名）	Sci Rep. 2020; 10: 6174. Published online 2020 Apr 10. doi: 10.1038/s41598-020-63131-3　(2020.4)
354.	Initial Report: A Unique Three-Dimensional Elastic Liver Model with Emulator Functionality	外科部長　坂　田　晃一朗 他5名	第38回北九州市医師会勤務医医学集談会　(2021.3)
355.	Extremely rare case of H-type gallbladder duplication coexistent with carcinoma: a case report report and review of the literature	外科部長　古　橋　　隆 他7名（※1名）	Surgical Case Reporets　(2020.8)
356.	維持透析患者の足の現状とフットチェックへの認識に関する実態調査	看　護　師　足　立　はるみ 他3名	第1回日本フットケア・足病医学会年次学術集会　(2020.12)

別紙３

施設の整備拡充

令和２年度の病院・診療所・介護老人保健施設、看護専門学校の増改築工事等及び医療機器･一般備品等に関する整備拡充については､次のとおりである。

１．新築及び増改築工事等

施　設	工　事　名	整備時期
名古屋掖済会病院	１．医師増員による麻酔科医局整備	Ｒ２年　４月
	２．無停電電源装置　蓄電池更新工事 エネルギーセンター・救命救急センター	Ｒ２年　６月
	３．コロナ対策　救命３階病棟排気ファン増設	Ｒ２年１２月
	４．救命セキュリティ工事	Ｒ２年１２月
神戸掖済会病院	１．病棟廊下トイレ壁掛手洗器・洗面通路手洗器・デイルーム手洗器自動水栓変更工事	Ｒ２年１２月
門司掖済会病院	１．本館屋上給水塔囲改修工事	Ｒ３年　２月
	２．新館４、５、６階ナースステーション空調更新工事	Ｒ３年　３月
長崎掖済会病院	１．超低騒音型冷却塔更新工事	Ｒ３年　３月
介護老人保健施設えきさい大阪	１．Ｗｉｆｉ設置工事	Ｒ２年１２月

２．医療機器・一般備品等

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
小樽掖済会病院	１．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ１	Ｒ２年　６月	1	北海道感染症医療提供体制設備事業
	２．エム・エス　ウォッシャーディスインフェクターＤＳ５００ＤＲＳ	Ｒ２年　７月	1	医療機関･薬局などにおける感染拡大防止等支援事業
	３．アムコ　ＶＩＯ３	Ｒ２年　９月	1	
	４．回診用Ｘ線撮影装置	Ｒ２年１２月	1	医療体制確保支援補助金
	５．麻酔器　Ｃｒｅｒｓｔａｔｉｏｎ６５０Ｓ．ｖｅｒ	Ｒ３年　３月	1	医療体制確保支援補助金
宮城利府掖済会病院	１．富士乳房Ｘ線撮影装置	Ｒ２年　６月	1	令和 2 年度（公財)日本船員福利厚生基金財団
	２．富士マンモビューアー読影システム	Ｒ２年　６月	1	
横浜掖済会病院	１．リアルタイム濁度測定装置一式	Ｒ２年１１月	1	（一社)日本船主協会補助金
	２．薬剤管理指導支援システム一式	Ｒ２年１１月	1	令和 2 年度（公財)日本財団助成事業
名古屋掖済会病院	１．マーチン電気メス　マキシウムｉ ８０－０４２－０２－０４	Ｒ２年 5月	1	
	２．サーモガードシステム　８７００－０６５０－０３（中心静脈留置型経皮的体温調節装置システム）	Ｒ２年 6月	1	
	３．バーサジェットⅡ　６６８０００３９	Ｒ２年 6月	1	
	４．ＥＶＩＳ　ＬＵＣＥＲＡ　細径胸腔ビデオスコープ　ＬＴＦ－２６０	Ｒ２年 6月	1	

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
名古屋掖済会病院	５．ネオプローブ（放射線〈ガンマ線〉検出装置）　ＮＰＣＵ４	Ｒ２年 ７月	1	
	６．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ１	Ｒ２年 ７月	1	
	７．上部消化管汎用ビデオスコープ ＧＩＦ－１２００Ｎ	Ｒ２年 ９月	1	
	８．全自動尿分析装置　ＵＳ－３５００	Ｒ２年 ９月	1	
	９．ホルムアルデヒド対策用脱臭装置付き切出流し台Ｒｔ	Ｒ２年 ９月	1	
	１０．ホルムアルデヒド対策用循環式保管庫	Ｒ２年 ９月	1	
	１１．一般Ｘ線撮影装置ＭＲＡＤ－Ａ８０Ｓ ＲＡＤＲＥＸ	Ｒ２年 ９月	4	
	１２．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ６	Ｒ２年 ９月	1	令和２年度新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等患者入院医療機関等整備費補助金
	１３．オンデマンド　殺菌システム ＭｏｏｎＢｅａｍ３	Ｒ２年１１月	1	令和２年度新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等患者入院医療機関等整備費補助金
	１４．３Ｄ医療用画像処理ワークステーション　ｚｉｏｓｔａｔｉｏｎ２	Ｒ２年１１月	1	
	１５．移動型デジタル式汎用Ｘ線透視診断装置　ＯＥＣ　Ｅｌｉｔｅ　ＣＦＤ	Ｒ２年１１月	1	
	１６．ハイブリッドＥＲ全景カメラ記録・配信システム	Ｒ２年１１月	1	
	１７．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ１	Ｒ２年１１月	1	令和２年度新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等患者入院医療機関等整備費補助金

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
名古屋掖済会病院	１８．ベッドサイドモニタ ＣＳＭ－１９０１	Ｒ２年１１月	1	
	１９．ＣＴスキャナ　Ａｑｕｉｌｉｏｎ ＰＲＩＭＥ　ＳＰ ＴＳＸ－３０３Ｂ／６Ｉ	Ｒ２年１２月	1	
	２０．Ｘ線循環器診断システム Ａｌｐｈｅｎｉｘ ＩＮＦＸ－８０００Ｃ／ＨＨ	Ｒ２年１２月	1	
	２１．汎用超音波画像診断装置 Ｖｏｌｕｓｏｎ　Ｐ６	Ｒ２年１２月	1	
	２２．無影灯マルチカラー　デネブＬＥＤ ７０００ＭＣ＋５０００ＭＣ	Ｒ２年１２月	1	
	２３．ＬＵＣＡＳ３　心臓マッサージシス テム　９９５７６－０００６７	Ｒ３年　１月	1	
	２４．気管支ビデオスコープ ＢＦ－Ｐ２９０	Ｒ３年　１月	1	
	２５．細菌検査システム Ｌａ－ｖｉｅｔａｌ　ＭＢ	Ｒ３年　３月	1	
	２６．汎用超音波画像診断装置 Ｖｅｎｕｅ　Ｇｏ	Ｒ３年　３月	1	
	２７．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ１	Ｒ３年　３月	1	令和２年度新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等患者入院医療機関等整備費補助金
	２８．人工呼吸器 ＨＡＭＩＬＴＯＮ－Ｃ６	Ｒ３年　３月	1	令和２年度新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ等患者入院医療機関等整備費補助金

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
大阪掖済会病院	１．ＮｅＸＵＳ内視鏡・超音波情報管理システム	Ｒ２年　４月	1	
	２．エアマットレス一式（リース）	Ｒ２年　７月	35	
	３．エアマットレス一式追加（リース）	Ｒ２年　７月	35	
	４．生体情報モニタＡｃｃｕｍｉｌ Ｎシリーズ（Ｎ１５+Ｎ１）	Ｒ２年１０月	1	大阪府新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症に係る医療機関･薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金
	５．ＲＯ装置（ＴＷ-９００Ｒ）	Ｒ２年１２月	1	
	６．全自動遺伝子解析装置 ＧＥＮＥＣＵＢＥ	Ｒ２年１１月	1	（一社）日本船主協会補助金
神戸掖済会病院	１．回診用Ｘ線撮影装置	Ｒ２年　５月	1	
	２．超音波診断装置Ａｐｌｉｏ　ｉ７００	Ｒ２年　５月	1	
	３．一包化錠剤仕分け装置タブソート	Ｒ２年　６月	1	
	４．全身麻酔装置Ｃａｒｅｓｔａｔｉｏｎ ６５０Ｐｒｏ	Ｒ２年　６月	1	
	５．手術支援ナビゲーションシステム	Ｒ２年　９月	1	令和２年度（公財）日本財団助成事業
	６．超音波画像診断装置ＶｅｎｕｅＧＯ	Ｒ２年　９月	1	
	７．高圧蒸気滅菌装置･酸化エチレンガス滅菌装置	Ｒ２年　９月	1	
	８．上部消化管汎用ビデオスコープ ＧＩＦ－１２００Ｎ	Ｒ２年１０月	1	
	９．セントラルモニタＤＳ－８７００一式	Ｒ２年１０月	1	

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
神戸掖済会病院	１０．超音波診断装置Ａｐｌｉｏ　ｉ７００	Ｒ２年１０月	1	
	１１．生体情報モニタＣＯＬ－Ｎ１５	Ｒ２年１１月	1	
	１２．人工呼吸器ベンチレーター ＰＢ９８０	Ｒ２年１２月	1	
	１３．筋電計　ウルトラプロ	Ｒ２年１２月	1	
	１４．患者サポートセンター・薬剤部 パッケージエアコン	Ｒ３年　１月	1	
	１５．喉頭ファイバービデオスコープ	Ｒ３年　２月	1	
	１６．島津診断用Ｘ線撮影装置	Ｒ３年　２月	1	
	１７．ＢＤマックス全自動核酸増幅検査 システム	Ｒ３年　２月	1	兵庫県補助事業
	１８．個人用多用途透析装置	Ｒ３年　２月	1	
	１９．非治療用コンプレッサー	Ｒ３年　２月	1	
門司掖済会病院	１．マンモグラフィー装置	Ｒ２年　７月	1	令和 2 年度（公財）日本財団助成事業
	２．泌尿器内視鏡システム	Ｒ２年１０月	1	福岡県ｺﾛﾅ補助金
	３．Ｘ線ポータブル撮影装置	Ｒ２年１０月	1	福岡県ｺﾛﾅ補助金
	４．超音波診断装置	Ｒ２年　３月	1	福岡県ｺﾛﾅ補助金
	５．上部消化管内視鏡システム	Ｒ２年　３月	1	福岡県ｺﾛﾅ補助金

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
名古屋病掖済会病院 院附属埠頭診療所	１．Ｘ線撮影装置　Ｒａｄｎｅｘｔ　ＲＸ	Ｒ３年　３月	1	名古屋港管理組合助成事業
	２．画像診断システム（ＦＰＤ＋ＰＡＣＳ＋立位撮影台）	Ｒ３年　３月	1	名古屋港管理組合助成事業

別紙４

病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の現状

医 療 施 設

（令和３年４月現在）

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
小樽掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分　一般病院２（3rdG:Ver.2.0）〉	〒047-0032 小樽市稲穂 1-4-1 TEL　0134(24)0325 FAX　0134(24)0326 HP　http://www.otaru-ekisaikai.jp/	内科　消化器内科　胃腸内科　肝臓内科　外科　消化器外科　肛門外科　乳腺外科　整形外科（休診中）　麻酔科	138
宮城利府掖済会病院 	〒981-0103 宮城県宮城郡利府町森郷字新太子堂 51 TEL　022(767)2151 FAX　022(767)2156 HP　http://www.rifuekisaikai.com/	内科　呼吸器科　消化器科　循環器科　漢方内科　外科　整形外科　皮膚科　泌尿器科　こう門科　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科　放射線科	100 （うち障害者病棟 50 床）
横浜掖済会病院 	〒231-0036 横浜市中区山田町 1-2 TEL　045(261)8191 FAX　045(261)8149 HP　http://www.yokohama-ekisaikai.com/	内科　脳神経内科　循環器科　消化器内科　血液内科　呼吸器科　外科　整形外科　消化器外科　こう門科　眼科　ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科　放射線科　麻酔科	151 （うち地域包括ケア病床 14 床）

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
名古屋掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分　一般病院 2（3rdG:Ver.1.1）〉	〒454-8502 名古屋市中川区松年町 4-66 TEL　052(652)7711 FAX　052(652)7783 HP　http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp/	内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 脳神経内科 腫瘍内科 外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 心臓血管外科 肛門外科 整形外科・手外科 脳神経外科 形成外科 精神科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科 緩和ケア内科 歯科 歯科口腔外科 健康管理科　産業保健科	602 （うち地域包括ケア病棟 47 床）
大阪掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分　一般病院 1（3rdG:Ver.1.1）〉	〒550-0022 大阪市西区本田 2-1-10 TEL　06(6581)2881 FAX　06(6584)1807 HP　https://osaka-ekisaikai.jp/	内科 糖尿病・代謝内分泌内科 循環器内科 消化器内科 神経内科 外科 消化器外科 整形外科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 小児科 眼科 放射線科 人工透析科 麻酔科	135
神戸掖済会病院 	〒655-0004 神戸市垂水区学が丘 1-21-1 TEL　078(781)7811 FAX　078(781)1511 HP　http://www.kobe-ekisaikai.or.jp/	内科 消化器内科 腎臓内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科 リウマチ科 外科 消化器外科 乳腺外科 血管外科 肛門外科 外科（がん化学療法）心臓血管外科 形成外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 麻酔科 救急科 病理診断科	325 （うち地域包括ケア病棟 54 床）

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
門司掖済会病院 	〒801-8550 北九州市門司区清滝 1-3-1 TEL　093(321)0984 FAX　093(331)7085 HP　http://www.ekisaikai-moji.jp/	内科 神経内科 外科 胃腸外科 胃腸内科 整形外科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 眼科 婦人科 皮膚科 麻酔科 歯科 歯科口腔外科 放射線科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	199 （うち地域包括ケア病棟 55 床）
長崎掖済会病院 	〒850-0034 長崎市樺島町 5-16 TEL　095(824)0610 FAX　095(822)9985 HP　http://www.ekisaikai-nagasaki.jp/	内科 消化器内科 心臓内科 呼吸器内科 気管食道内科 糖尿病内科 脂質代謝内科 感染症内科 老年内科 内視鏡内科 腎臓内科 外科 内分泌外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科 肛門外科 気管食道外科 腫瘍外科 整形外科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 リウマチ科 皮膚科 泌尿器科 性感染症泌尿器科 放射線科	142 （うち地域包括ケア病棟 54 床）
名古屋掖済会病院 附属埠頭診療所 	〒455-0033 名古屋市港区港町 1-9 TEL　052(651)1158 FAX　052(651)1159	内科 小児科 外科 皮膚科 放射線科	
広島掖済会診療所 	〒734-0011 広島市南区宇品海岸 2-12-35 TEL　082(251)2565 FAX　082(251)7714	内科 神経内科 消化器科	

介護老人保健施設

施　設　名	所　　在　　地　　等	定　　員
介護老人保健施設 えきさい横浜 	〒231-0036 横浜市中区山田町 1-1 TEL　045(261)8821 FAX　045(261)8838 HP　http://www.ekisai-yokohama.com/	入所者　88 名(うち認知症専門棟２６名) 通所者　10 名
介護老人保健施設 えきさい大阪 	〒550-0022 大阪市西区本田 2-1-10 TEL　06(6581)7655 FAX　06(6581)7656 HP　http://www.ekisai-osaka.jp/	入所者 100 名 通所者　40 名

養成施設

施　設　名	所　　在　　地　　等	課　　程	定　員
えきさい看護専門学校 	〒454-0854 名古屋市中川区松年町 4-48 TEL　052(652)7782 FAX　052(654)4590 HP　http://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp/ekikan/	3 年課程 (全日制･修業年限 3 年)	1～3 学年 各 40 名